

バージャー病 NEWS

2009年7月1日発行
発行 NPO 法人バージャー病研究所
発行者 岩井武尚
編集 川上杏菜・宮口順一

バージャー病(ビュルガー病)の昨今

バージャー病は欧文では thromboangiitis obliterans (トロンボアンジヤイテスオブリテランス) といわれ、いまや世界中で認められた独立した、なおかつ若い人にみられる病気で

一時は動脈硬化が若い人に起こったものだといわれ論争をよびましたが、それはクリヤーされました。日本語では閉塞性血栓血管炎ともバージャーのドイツ語呼びのビュルガー病とも呼ばれています。日本の血管系の学会では、通常バージャー病と呼んでいます。したがって今後はなるべくバージャー病と呼ぶことにしましょう。わが国では、統計上患者さんの数が減少しているようですが、統計の取り方に問題があり、いま厚労省に問題提起しているところ

る。バージャー病には歴史がある。バージャー病自体は19世紀末から医学的な研究報告がありま

告知板09：第一話
バージャー病のこころ
ごまな人



ビュルガーさんともよばれるこの人は、どんな人だったのでしょうか？
1879年9月13日に生

まれて1943年10月6日に亡くなっていますから64歳まで生きたことになり

ます。生まれたのはウィーンで、その後ニューヨークの医科大学を出て、かの有名なニューヨークのマウン

トサイナイ病院で外科病理学者をつとめ、1908年有名なバージャー病に関する病理学的報告をしており

ます。その後外科医として、同病院に6年間勤務し、その間に数々のバージャー病に関する報告をして、1924年「四肢の血行障害」という628ページの著書を出して、1930年にロスアン

ジェルス大学の病院のなん

と泌尿器科の教授となつて勤務、その後は一切のバージャー病に関する研究はや

りません。しかしながら細菌感染を強く疑いながらも、13年後に亡くなつてい

ます。バージャーは英語読

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

す。もちろん病気はもつと前からあつたはずですが、タバコと強い関係がありますから、新大陸アメリカからタバコが伝わった16世紀はじめからは欧米を中心

に、日本ではタバコがもたらされた16世紀後半から確実にあつたのかもしれない。そして、元氣な若者に起こる重篤な動脈閉塞症として現代まで注目されてきたわけですね。特にウ

インからアメリカに移り住んだユダヤ人バージャーさんは、別欄で紹介のようにたくさんの患者さんを集めて、切断された足や手の顕微鏡的研究を行い20世紀初頭から活躍しました。わ

が国でも、1898年芳賀先生がバージャー病の病因を梅毒であるととしてベルリン・ドイツまで出かけて発表しております。その後も現代に至るまで、原因は、寒さである、からだの代謝異常、アレルギーである、さら

らに膠原病のような自己免疫疾患じゃないかといったふうに変化していきま

きました。とくに、タバコとの関係が非常に大きいことから、その研究が大いに進められて

きた。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

た。その間にも、バージャー病が感染ではないかという疑問はますます強まり、梅毒以外に、腸チフス、レンサ球菌、リケッチャ、皮膚真菌などがあげられてきました。1928年ですが、アメリカの有名な病院メイヨークリニックのアレン先生は、感染源として口腔内の菌や前立腺炎の菌に注目して論文を発表しています。しかし、どうやっても菌を見つけることができませんでした。それは簡単に見つかる強い菌(強毒菌)に注目して

いたからです。

21世紀の夜明け

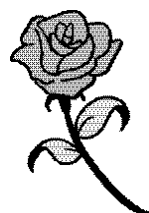
1999年頃から血管病変に種々の口腔、咽頭の弱毒菌(体

にいつもいて、あまり害がないとされてきた菌(常在菌)が証明されるようになりました。これは検査法の大進歩のおかげです。2004年、バージャー病患者さんの協力を得て、閉塞した動脈のDNA検査をしまし

た。その結果、ほとんどすべて93%に口腔内と同じ歯周病菌DNAが見いだされたのです。



岩井 武尚
慶友会 つくば血管センター長
NPO 法人バージャー病研究所長
東京医科歯科大学名誉教授



茨城県の県花
(バラ)

今後この「バージャー病ニュース」(無料)を購読ご希望の方は、NPO 法人バージャー病研究所までご連絡ください。個人情報保護責任を持って管理いたします。

み、ビュルガーはドイツ語読みとなります。正式な名前は Leo Buerger。何歳のときの写真かわかりませんが、写真からは、誠実で、真面目で、勤勉で、一途な印象を受けます。

・平成4年に動脈再建をうけましたがそのときの印象はどうでしたか？
(OKさん) 左の膝窩部にバイパス手術を受けましたが、今も流れておりこれからも大切にしたいと思えます。自分の静脈を使ったことと禁煙がよかったのではといわれました。

・60歳を過ぎてからコレステロール値があがったり、両手のレイノー現象が出てきましたがいかがでしょうか？
(OKさん) それぞれ治療をしますが、とくに手が白くなるレイノー現象に対しては左の胸部交感神経遮断術をうけました。

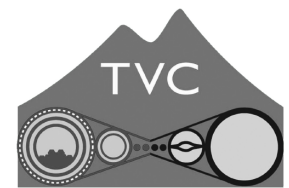
・現在内服薬を続けていますが副作用はありますか？
(OKさん) 幸い副作用なく長く飲み続けています。

・ますますお元気に仕事にも活躍してください。

・平成4年ころに歩けなくなつて一番困つたことは何ですか？
(OKさん) 会社への出勤や旅行ができなくなったことです。幸い足が腐るといった重症になる前に診断がつき、その日から先生に言われてタバコをやめました。

・そのころの喫煙状況はどのようでしたか？
(OKさん) 一日40本くらい吸っていました。それから診断まで30年くらい続いたことになり、診断直前のころにはじつと足も足が痛むようになりました。

・そのころの歯の状態はどうでしたか？歯茎からの出血などはありましたか？
(OKさん) 歯はいまはしっかりしていますが、そのころは磨くと出血することが多かったように記憶しています。



ロゴについて

TVCとは
Tsukuba Vascular Center の略。
上に筑波山を入れ左からアテローム血栓のある大動脈、中動脈、弁のある中静脈、そして大静脈と並んでいます。

NPO 法人バージャー病研究所

気を取り戻していただこうと考えています。足を切断させないこと、最新の知識を活用すること、血管全体に目を向けることなど、真の血管病からの開放を目指したいと思ひます。

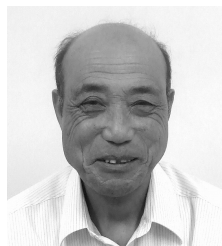
つくば血管センターとして取り扱っているのは以下のような病気で

- 動脈疾患
・閉塞性動脈硬化症
・バージャー病
・動脈瘤
・機能的狭窄
- 静脈
・静脈瘤
・深部静脈血栓症 (エコノミー症候群)
リンパ浮腫
- レイノー病
膠原病

医療法人慶友会 つくば血管センター
〒302-0118
茨城県守谷市立沢 980-1
TEL 0297-47-9955 FAX 0297-45-4541
http://www.keiyu.or.jp
E-mail: info@keiyu.or.jp

※当法人は皆様からの寄付金により運営されています。

私はいつまでかある



・平成4年ころに歩けなくなつて一番困つたことは何ですか？
(OKさん) 会社への出勤や旅行ができなくなったことです。幸い足が腐るといった重症になる前に診断がつき、その日から先生に言われてタバコをやめました。

バージャー病「一口知識」

バージャー病は、動脈の病気であるので、静脈はどうなるのでしょうか？最近の方法で調べてみると、静脈の弁が壊れて逆流していることがわかりました。バージャー病は、動脈と静脈の両方の病

あつちこつちに移動してこのような現象がおこるので逍遙(ぶらぶら歩くの意味)性静脈炎とよびました。この

